

## ネスレ日本とT2、自動運転トラックによる輸送実証を開始 「ネスカフェ ゴールドブレンド」を届け続けるために、次世代の物流に挑戦 ～T2による関西初(※1)“無人/有人運転の「切替拠点」”の設置計画も公表～

ネスレ日本株式会社(本社:兵庫県神戸市、代表取締役 社長 兼 CEO:深谷 龍彦、以下「ネスレ日本」と)と株式会社T2(本社:東京都千代田区、代表取締役 CEO:熊部 雅友、以下「T2」)は、T2が開発した自動運転トラックを用いて、高速道路上で「ネスカフェ」を輸送する実証を、2025年12月10日(水)から開始します。

(※1)T2調べ(2025年12月時点)。日本国内で物流事業を営む企業として



ネスレ日本 姫路工場を出発するT2の自動運転トラック



実証で輸送する製品例  
「ネスカフェ ゴールドブレンド」(瓶、つめかえパック)

ネスレ日本は、1967年に、日本で初めてフリーズドライ製法を採用したコーヒーとして「ネスカフェ ゴールドブレンド」を発売しました。1971年からは、ネスレ日本 姫路工場(兵庫県姫路市)での国内生産を開始し、日本で最も飲まれているソリュブルコーヒー(※2)として親しまれています。

これからも変わらず「ネスカフェ ゴールドブレンド」を皆様に届け続けるために、ネスレ日本は、自動運転による次世代物流に挑戦します。現在、ネスレ日本 姫路工場から各地への輸送においては、貨物鉄道や船舶といったトラック以外の活用を進める一方、関東地方への長距離帯の輸送は、トラックを使用しています。物流業界で進むドライバー不足に対応し、これからも皆様の「いつもの一杯」を届けるために、ネスレ日本は、2027年度に、「高速道路」という特定の条件下でドライバーの代わりにシステムがすべての運転操作に対応する「レベル4」(※3)自動運転トラックによる幹線輸送サービスの開始を目指すT2と共同で実証を開始します。

本実証は、ドライバーが乗車しつつ、ハンドルから手を放して運転する「レベル2」(※4)自動運転トラックを用いて、自動運転区間(※5)として高速道路上の約430~450kmを設定します。2025年12月10日(水)から2026年8月までの期間に計4回の実施を予定しており、ネスレ日本は、今回の実証結果を踏まえ、T2が2025年より国内で初めて事業化した「レベル2」自動運転トラックの商用運行に参画し、定期運行化を目指します。さらに将来的には、T2が2027年度からの開始を目指す「レベル4」自動運転トラックによる幹線輸送サービスへの参画も視野に入っています。

(※2)ネスレ日本調べ、ソリュブルコーヒー・インスタントコーヒー・カテゴリーにおいて／2024年1-12月／販売金額

(※3)特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、自動運行装置が運転操作の全部を代替する状態

(※4)ドライバーの監視のもとに行われる特定条件下での高機能自動運転

(※5)安全確保が必要な状況や料金所、工事区間などではドライバーが一時的に運転操作

### ＜概要＞

時期: 2025年12月10日(水)から2026年8月までの計4回を予定

積載物・区間: 【関西～関東】「ネスカフェ ゴールドブレンド」(瓶、つめかえパック)

ネスレ日本 姫路工場(兵庫県姫路市)から千葉県の物流拠点(千葉県野田市)の約640km

(うち、「レベル2」自動運転区間: 名神高速・高槻JCTから東名高速・綾瀬スマートICの約430km)

【関東～関西】「ネスカフェ ドルチェ ゲスト」の専用カプセル  
神奈川県の物流拠点(神奈川県横浜市中区)から兵庫県の物流拠点(兵庫県西宮市)の約 500km  
(うち、「レベル 2」自動運転区間: 東名高速・綾瀬スマート IC から名神高速・西宮 IC の約 450 km)

役割:  
【ネスレ日本】 拠点・運行ルートの選定、実証貨物の手配  
【T2】 全体マネジメント、実験用車両の手配

検証内容:  
すべての実証はドライバーが乗車し、「レベル 2」相当で実施します。  
・ 貨物を積載した幹線輸送における自動運転の走行ルートおよび走行リードタイム検証  
・ 想定したオペレーションパターンの有効性検証  
・ 低炭素燃料(※参考資料)を用いた輸送の有効性検証

### ■T2 による関西初(※1)となる“無人/有人運転の「切替拠点」”の設置

T2 は、上記の「レベル 4」自動運転トラックによる幹線輸送サービスの開始に向けて、兵庫県神戸市の山陽自動車道・神戸西 IC に近接する土地に、国内の物流事業者としては関西で初めて、高速道路における無人運転と、IC と顧客の物流拠点を結ぶ一般道での有人運転を切り替えるためにドライバーがトラックに乗り降りする拠点(以下「切替拠点」)を設置します。すでに着工済みの神奈川県綾瀬市の切替拠点とあわせて、ネスレ日本を含めた関西に地盤を置く企業の自動運転トラックの利用を想定した関東一関西の幹線輸送体制の確立を図ります。

(※1)T2 調べ(2025 年 12 月時点)。日本国内で物流事業を営む企業として

着工: 2025 年 11 月  
完成: 2026 年 2 月(予定)  
所在: 兵庫県神戸市西区見津が丘  
総面積: 約 1,800m<sup>2</sup>  
用途: 自動運転トラックの無人/有人運転を切り替えるためのドライバーのトラックへの乗り降りおよび  
当該のオペレーションを検証するための実証など



【参考】T2 のプレスリリース「関西初 神戸市に自動運転トラックの無人/有人運転を切り替える拠点を設置へ」

[https://t2.auto/news/2025/1210\\_b.pdf](https://t2.auto/news/2025/1210_b.pdf)

以上

### 参考資料

#### ■「自動運転」とは

「自動運転」とは、車両が人に代わって運転操作を行う技術を指します。運転支援のようにドライバーの操作を一部補助するものから、運転者が関与せずに車両が自律的に走行するものまで、さまざまな段階があります。国際的な基準としては、自動車技術者協会(SAE)が定めた「自動運転レベル」によって、自動化の範囲が整理されています。

#### ＜「自動運転レベル」について

レベル	自動運転レベルの概要	運転操作(※6)の主体
レベル 1	アクセル・ブレーキ操作またはハンドル操作のどちらかが、部分的に自動化された状態。	運転者
レベル 2	アクセル・ブレーキ操作およびハンドル操作の両方が、部分的に自動化された状態。	運転者
レベル 3	特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、自動運行装置が運転操作の全部を代替する状態。ただし、自動運行装置の作動中、運転操作が促された場合には、適切に応答しなければならない。	自動運行装置 (自動運行装置の作動が困難な場合は運転者)
レベル 4	特定の走行環境条件を満たす限定された領域において、自動運行装置が運転操作の全部を代替する状態。	自動運行装置
レベル 5	自動運行装置が運転操作の全部を代替する状態。	自動運行装置

(※6)車両の操縦のために必要な、認知、予測、判断及び操作の行為を行うこと

【参考】第 6 期先進安全自動車(ASV)推進計画成果報告「自動運転に関する用語」(国土交通省)

[https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/01asv/report06/file/siryohen\\_4\\_jidountenyogo.pdf](https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/01asv/report06/file/siryohen_4_jidountenyogo.pdf)

## ■ネスレ日本について

ネスレ日本は、スイスに本社を置く世界最大の総合食品飲料企業ネスレの日本法人で、1913年(大正2年)に創業しました。ネスレは、「食の持つ力で、現在そしてこれから世代のすべての人々の生活の質を高めていきます」を存在意義(パーカス)として掲げ、安全で、美味しく、環境にも配慮された製品やサービスを皆さんにお届けできるよう、今後も努めています。

ネスレ日本について: <https://www.nestle.co.jp/>

## ＜持続的な物流実現のための取り組み＞

ネスレ日本はこれまで、トラックから貨物鉄道や船舶などに輸送を切り替える「モーダルシフト」(※7)の長距離帯および中距離帯での推進、異業種との共同輸送やラウンド輸送の推進を行い、持続可能な物流の実現に向けて取り組みを進めてきました。(※7)トラックなどの車両輸送と比較して環境負荷が少なく、大量輸送が可能な貨物鉄道や船舶などに輸送を切り替えること

## ＜ネスレ日本 姫路工場について＞

ネスレ日本 姫路工場は、兵庫県姫路市に位置し、ソリュブルコーヒー「ネスカフェ ゴールドブレンド」をはじめとした飲料製品および菓子製品の製造を担う拠点です。1965年に完成し、1966年より操業を開始したネスレ日本 姫路工場は、2026年に60周年を迎えます。

## ■低炭素燃料の試験利用

本実証では、▼廃食油や廃動植物油脂を主な原料とし、次世代の軽油代替燃料として期待される「リニューアブルディーゼル」を伊藤忠エネクス株式会社から、▼軽油にバイオディーゼル燃料を5%未満混ぜた「B5 軽油」を株式会社宇佐美鉱油および三和エナジー株式会社から供給を受け、自動運転トラックの燃料としてそれぞれ試験利用します。

【参考】T2のプレスリリース「石油業界7社と自動運転トラック向けにカーボンニュートラル燃料の利用拡大協力で合意」

<https://t2.auto/news/2025/0807.pdf>

## ■株式会社 T2について

本社所在地: 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル1階

代表者: 代表取締役 CEO 熊部 雅友

設立日: 2022年8月30日

事業内容: 自動運転システムの開発、レベル4自動運転トラックによる幹線輸送サービス事業、幹線輸送に付随した関連サービス事業、その他関連サービス事業

企業サイト URL: <https://t2.auto/>